

## 2 徳之島地域農業を支える担い手の育成

### 【成果の要約】

認定農業者、新規就農者、農業青年などに対して、各関係機関と連携し、経営、労務管理に関する研修や、農業経営スペシャリストを活用した法人設立等に関する支援を実施した。また、家族経営協定は2戸締結し、新規複式簿記記帳農家が28戸増加した。

指導農業士2名、青年農業士1名、女性農業経営士1名が認定された。また、徳之島農業青年クラブ連絡協議会活動支援を通じた青年リーダーの育成や女性起業組織の特産農産物活用による異業種交流支援を実施した。

### 1 対象

- (1) 担い手478経営体、認定農業者294人・23法人、JA青色申告会119人
- (2) 担い手確保・育成対策事業対象者19戸、研究会組織1組織、集団対象1集団
- (3) 新規就農者、農業次世代人材投資事業対象者、就農予定者
- (4) 徳之島農業青年クラブ連絡協議会39人
- (5) 参画21とくのしま18名、伊仙町ふぁーみんぐ11人、若手女性農業者18人、女性起業組織6組織、起業志向者2人

### 2 課題を取り上げた理由

- (1) 今後も、農家数減少が見込まれる事などから、将来の担い手の規模拡大が必要である。
- (2) 認定農業者及び新規就農者等への関係機関一体となった支援体制の強化が必要である。
- (3) 新規就農者及び青年農業者等の課題解決に向けた自主的な取組と手法の習得が必要である。
- (4) 農村女性の経営参画を促進するため、若手女性農業者の育成及び女性農業経営士の認定支援が必要である。
- (5) 女性起業活動を促進するため、女性起業グループの後継者確保及び起業家志向者の育成が必要である。
- (6) 担い手農家の経営管理能力向上に向けた支援が必要である。

### 3 活動内容と成果

- (1) 認定農業者等の経営改善支援

#### ア 担い手部会の定期的開催支援

コロナの影響で定期的な開催がままならない状況であったが、島内の担い手課題や各町における施策の進行状況について検討を実施した。また、7月と11月に、リモート配信も活用しながら「農地集積」、「青色申告」、「収入保険」、「畑かん利用」、「労務管理」、「法人化」についての研修を実施するとともに、農業経営スペシャリストによる法人化および農業承継に関する個別相談会を実施した。



天城町から2町に配信した研修会

#### イ 新規認定農業者支援

各町の経営改善計画作成支援を実施した。12戸が新規の認定農業者として認定された。

#### ウ 法人化の推進

法人志向農家のリスト化し、農業経営スペシャリストを活用した個別相談会を実施するとともに、関係機関とも連携しながら法人化に向けた支援を実施した。このうち3戸が法人化

し、法人化後も継続した支援を実施している。



個別相談会



パソコン簿記記帳支援

## エ 経営改善支援

JA青色申告会（2組織）での記帳会におけるパソコン簿記記帳支援を実施した。青年等就農資金などの資金借入者を中心として、28人が新規で青色申告を目的としたパソコン簿記を開始している。

また、農業制度資金については、肉用牛の増頭に関する資金相談を中心に、経営改善計画書の作成支援を22戸実施し、資金借入後の活用状況把握等も実施した。

## (2) 家族経営協定の推進

農業後継者の就農などを機会として、役割分担、報酬、休日などを定めた家族経営協定を推進し、新たに2戸（2月末時点）が締結した。

## (3) 重点対象者の育成

### ア 経営改善支援

重点指導農家を中心に、令和3年度の経営分析を実施し、各経営体の経営課題について提案・指導を実施した。

### イ 技術改善支援

各経営体の現状に応じた栽培技術、飼養管理技術について指導を実施した。

## (4) 新規就農者確保及び農業青年の育成

### ア 就農支援体制の充実

各町と連携し、新規就農者を個別訪問して就農意欲や営農上の課題等を把握するとともに「新規就農者励ましの会」「町別説明会」を開催し、指導農業士や農業青年クラブ員との顔合わせを行った。

また、農業基礎研修や部門技術情報の提供、定期的な巡回訪問などを行い、新規就農者の早期定着を図った。



新規就農者励ましの会



町別就農者支援策説明会



農業基礎講座（農業機械）



新規就農者ほ場訪問



#### イ 認定新規就農者への誘導

青年等就農計画の作成支援や資金相談を行い、13戸が認定新規就農者に認定された。

#### ウ 組織活動を通じたリーダー育成

コロナ禍の中にあり、各町農業クラブ及び徳之島農業青年クラブ連絡協議会の活動に大きな制限があったが、重点的な活動体制支援を継続した結果、新たなリーダーとして連協の新会長が就任した。ネットを活用した県連役員会への参加、情報誌「農業かごしま」において3単協及び連協の活動紹介等を通し、地域の内外に向け徳之島農業青年の活動についてPRするなど、工夫した活動を展開した。

#### エ 青年農業者の技術・経営管理能力向上支援

10月に徳之島地区青年農業者会議を開催し、2名が意見発表、1名がプロジェクト発表、1名が農作業支援アプリの情報提供を行い、指導農業士等から有益な助言指導がなされた。また、2月に徳之島町の牧山竜太氏が青年農業士の認定を受け、認定証を交付された。今後も農業青年のプロジェクト活動に対する自発的な取組を誘導し、技術・経営管理能力の向上支援を進めていく。



地区青年農業者会議



プロジェクト活動風景

### (5) 女性農業者の育成

#### ア 女性農業経営士の育成

熱帯果実のPR活動に取り組み、島内異業種との交流を行った。PRのぼりや果実活用メニューの提供店マップ作成など新たな試みにより活動の幅を広げることができた。また、新たに1名が女性農業経営士に認定された。「徳之島の農業を語る会」では、3町長に女性農業者が抱える課題解決にむけた提言を行い、「地区青年農業者会議」で青年農業者の活動についても理解を深め、来年への後継者育成活動への足がかりとした。

#### イ 若手女性農業者の活動支援

「参画21とくのしま」の活動に若手女性3名が参加し、相互交流を深めた。



異業種交流会



参画21とくのしま交流会



金見あまちゃんクラブ視察



徳之島の農業を語る会

#### ウ 女性起業グループの活動支援

地域営農推進本部生活部会と連携し、「食品表示研修会」や「お土産づくりセミナー」開催を企画し、安心・安全、衛生面に配慮した取組についての情報を提供した。また、新商品（なり味噌、じゃがいも味噌詰合せセット）の販路拡大のため、「2021かごしまの新特産品コンクール」への出展を支援し、販売力向上を支援した。

また、徳之島の食文化を島の次世代や来島者に伝える「食の伝承講座」を開催した。



マンゴー加工品の個別相談



特産品コンクール出展



鹿児島空港の6次化商品自販機



落花生料理の伝承（徳之島町）



マンゴー加工品の試作（天城町）



地産地消料理（伊仙町）

#### 4 今後の課題

- (1) 認定農業者，認定新規就農者及び担い手候補者への支援の継続。
- (2) 農業青年および新規就農者の所得目標達成に向けた支援の継続。
- (3) 女性の能力発揮の機会確保と，次世代リーダー育成。
- (4) 離島における6次産業化の検討。

#### 5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇樋口，柴立，福山，大迫，福元，西，脇田，松ノ下